

久万高原町
議会だより

第7号

2015年
11月



第45回久万林業祭り

主な内容

平成27年9月定例議会 …………… 2	総務文教厚生常任委員会 10～11
一般質問…………… 3～9	産業建設常任委員会 …… 12～13

平成27年

9月定例議会

9月14日～9月18日

議案	条例制定	国民健康保険税条例の一部改正 他……………	2件
	補正予算	平成27年度一般会計補正予算 他……………	5件
	認定	町立病院事業会計決算 他……………	2件
	報告	健全化判断比率、資金不足比率、他……………	3件
	任命	教育委員会教育長の任命	
	推薦	人権擁護委員候補者の推薦	
	その他	動産の取得、工事請負契約の締結	
発議	ドクターヘリの導入・運航に対する支援の拡充を求める	他	3件

平成27年9月補正後予算額

総 額	153億9822万円	(2億4821万円増)
一般会計	93億6773万円	(2億2123万円増)
特別会計	47億3310万円	(5740万円増)
事業会計	12億9700万円	(3042万円減)

平成27年9月の主な補正

歳入	国庫支出金	2384万円	
	県支出金	2971万円	
	繰入金	300万円	
	町債	1億4530万円	合併特例債他増額
	繰越金	2925万円	
歳出	高規格救急車他更新	3780万円	
	久万学校給食センター改築設計委託料	1300万円	
	町道福下線他改良	2675万円	
	道の駅収益金の基金積立	1300万円	
	町道・里道等修繕(17箇所)	990万円	
	河川の補修等	950万円	
	林道ナノタニ線他未登記部分の測量	500万円	
幼稚園の臨時雇賃金	612万円	他	

一般質問

「道の駅」の経営を問う



中野克仁議員

問

「道の駅」事業は初期の目的を果たしているか。3年後には、指定管理になるのか。正確な決算、情報公開ができていますか。

答

活性化につながる道の駅を核にした経営を目指す。指定管理は未定。決算は複式簿記で、情報は広報などで説明している。

問

全国にたくさん道の駅が開設されているが、採算的には多くの施設が成り立っていないと聞いている。道の駅には農産物等の出荷で高齢者の生きがいづくり、健康づくりなど生活上の一翼を担う役割、町の情報発信の中心となる役割があると思う。多額の借入をしてオープンした道の駅だが、将来的な展望があるのか、初期の目的を果たしているのか。

答

道の駅をつくるに至って、住民の生活を後押しする、健康づくり、そういう気持ちがあった。将来の展望としては、いろいろな提案をいただき活性化につながる流動人口を増やし、いろいろな道の駅を核にした経営を目指している。

高野町長

問

道の駅の開設前の検討委員会では、3年間直営、その後、指定管理にするという事だった。昨年4月にオープンして1年数か月が経つが、お願いしていた複式簿記による決算書がまだ提出されていないか、どうするのか。

答

大きな事業なので、きちんとした、複式簿記を採用した決算をやっているとこだ。3年で指定管理に出すという計画だったが、3年たつてどうしても指定管理に出すところまでいくか、あと2年くらい直営でいくか、後の事については相談して計画を練っていかなくてはと思っています。

高野町長

問

町の財政も厳しくなる中で、町の直営事業については事業ごとにきちんと精査、把握し正確な



道の駅天空の郷さんさん

答

決算をして情報を公開して、住民にもわかりやすい経営をするべきだと思うがその点はどう考えるか。

いろんな形で、広報なども通じて、説明はしているところもあるのではと思っています。たとえば、農産物ではいくらの売上があったとそういった事はこれからも報告したい。

高野町長



まちなか交流館とする

ふるさと村づくりになる



西山清一議員

問 まちなか交流館の事業目的・運営方針を問う

答 道の駅と連携し中心地帯の振興を目的とし、当面は町を運営主体とした直営方式で行く

問 本年度整備するまちなか交流館は、当初1億2100万円

をかけ、旧酒蔵の白壁を活かした大幅な改築事業であったが、シロアリの被害が大きいため、建物を全面的に壊し、新築するという事業変更があった。

当初予算は土地建物の購入費が1500万円となっており、建物は全面取り壊し、土地の購入費のみで1

495万円余りとなっているが、当初から建物については評価していなかったのか伺いたい。

答

土地の購入費は1495万6千円で坪単価は5万円。建物は当初から評価はゼロ。

そして、建物の解体工事770万円は、当初予算の建築本体工事に含んだので発注を計画していた。

次にまちなか交流館事業は、都市再生整備計画事業により取り組んでいる。道の駅「天空の郷さんさん」と連携して、中心地振興に結びつけることを目的とし、交流人口の増加や、地域住民の交流につなげ、町の賑わい拠点として整備するものである。

内容は、交流活動のための展示室、体験施設、町の情報発信を兼ねた売店、イベントにも活用できる中庭など、商店街とも連携した施設としている。

次に、まちなか交流館の運営については、当面は、町を運営主体とした直営方式により、商店街の振興を図り、適切な収入の設定、効果的な事業の実施による収入の増加を図り、

また、助成金など外部資金を獲得して、町の負担に依存しない管理運営を目指している。

また、人員については、地域おこし協力隊員の雇用を計画している。

高野町長



まちなか交流館建設地

問

私も以前の仕事で、不動産の評価もしたことがあるが、一般的に土地は、更地が一番値打ちがあり、古い建物、不要の建物がある場合は、本来はそれを差し引いて評価する。そういう意味で、少し疑問に感じる。

まちなか交流館は、当面は町直営

で、従業員1名でやりたいと、聞いているが、従業員1名で、売店、交流事業等を担当するというのは、私は少し問題があると思う。

まちなか交流館は、八方美人的な事を言わずに、はっきりと正岡道一氏より寄付していただいたこけしを展示するという形を、出していくべきだったのではと思うが。

答

大谷出身の正岡道一さんより3年前に、こけしを41点、2か月前に9体、1週間前に20体のこけしを寄付していただいた。その20体のこけしの金額は、約380万円ぐらいかなと思う。そのすばらしいこけしを70体展示できるだろう。

こけし会館という思い切った名前にしたらということは、思ってもおりました。交流館は検討委員会でつけた名前だ。なお、交流館では、小学生などに、無地のこけしに絵つけ体験をしたり、砥部焼を含めて、絵付けしたり、学習の場としていくのが目標だ。

高野町長

問

こけしについて、町長より、金額的な話が一部出た。一般的に寄付金等については、寄付探択があり、財産管理しているのが当然だが、このこけしについては、どのように管理しているのか。

答

当然、こけしは目録がありまして、その目録のもとで受けとっている。そして、正岡様には受領書を渡しており、そういうことの中で、財産管理をしている。

高野町長

問

ふるさと村の指定管理者の現状を問う

答

ふるさと村の指定管理者を変更したが、経営改善等に重点を置き過ぎ、お客様本位の経営が出来ていないようだ

町長

問

平成27年4月から、指定管理者が変更になったふるさと村の利用者から、食事がまずいという話があり、最初のプレゼンテーションどおりの運営が出来ているのか心配している。4月の全協で、町長は、県内の業者でないといけないといったが、今回、東京都の住所の事業者になっている。県内事業者という枠はもう取り払ったのか。今回は応募が1社だけだったのでそうしたのか。

答

ふるさと旅行村については、平成25年度から、指定管理者制度を導入し、当初は、(株)共立メンテナンスに管理委託していた。

会社側の申し出でにより、本年6月末をもって指定管理を取り消し、後任として、公募により、JPT「Tours Japan 株式会社」に管理委託している。

この会社は、国内で外国旅行者の受け入れをしている実績から、ふるさと村のかやぶき民家、ケビンなどを活用し、積極的に外国からの旅行者を受け入れ、町の活性化に資することを計画している。

現在まで一応の対応はできたようだが、経営改善やコスト改善に重点を置きすぎた為か、スタッフの確保や、食堂の経営などの、お客様本位の経営が出来ていない状況や、利用者の意見があった。

この点について、担当部署からの指導や、私からも直接代表者に指導した。その結果、ある程度のスタッフ確保などが出来たが、まだ不十分な点もあり、引き続き指導を行っていく。

応募が1社しかなかったが、指定管理委員会で、いろいろな角度から決定したと報告を受けている。レストランの味については指導はしている。

おわりに

なぜ、交流館とふるさと村両方質問したかというと、新規事業のまちなか交流館事業について、町内外の利用者から喜ばれるよう、また、既存の設備であるふるさと村も、町の大事な財産ですので、町長、理事者は熱心に取り組んでほしいというのが理由だ。



ふるさと旅行村

空家、廃屋対策を問う



日野明勅議員

問 「空き家」「廃屋」について、実態把握はできているか。対策は考えているか。

答 町としても空き家、廃屋対策については急務と考える。

問 空き家、廃屋について、今後、過疎化は急速な増加が懸念される。県下一の高齢化地域の久万高原町では独自の画期的かつ強力な対策がなければ、将来に大きな禍根を残す。

まず、人口減に伴う空き家、廃屋の実態把握はできているのか伺いたい。空き家の補修により、居住可能な家屋と放棄地を一体化させるなど、

定住促進の大胆な方策が必要だ。

空き家、廃屋の対策は、喫緊の課題であり、強力な実行力を伴ったプロジェクトチームの結成が大切だ。町長の所見を伺いたい。

答 人口推計調査を見ても、空き家、耕作放棄地の増加は当然考えられる。全国的にも高い愛媛県の空き家率の中で、空き家等が及ぼす近隣地域住民への生活環境の悪化については、昨年11月に公布された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき県とも連携をして対策を講じていく。

次に放棄農地との一体対策については、農地法により決められた面積以下での農地の取得はできないが、地主と居住者との直接賃貸は農業委員会への農地利用権設定申請の提出により、承諾を得れば耕作は可能となる。次に空き家の活用については「空き家バンク制度」があり現在の登録数は13件である。地域によっては「空き家バンク」に頼らないで、積極的に移住者を受け入れ、インターネット等の活用により移住者が移住者と呼ぶという新しいスタイル

もできつつある。プロジェクトチームの設定については、現在計画はないが必要なら検討していく。

高野町長



空き家バンク登録物件

するため、実質町が負担するのは25%の150万程度で済む。空き家を改築し、家賃1万5000円位で貸し出せば移住者も満足し、町も負担した金額は回収できると聞く。このようなモデル的な空き家を作ってみることに 대해서는 どうお考えか。

答 檮原町の事例については私も聞いたことがある。今後移住者を増やしていくことは大事な問題でもあり、様々な角度からご指導いただきたい。

高野町長

おわりに

町長の推進する観光立町の面からも、美観を損ない危険を伴う廃屋対策は強力に進める必要がある、その為にもプロジェクトチームの設置による早急な対応を願う。

問 全国的に深刻な人口減少、過疎化問題に対して各自治体が様々な対応策を講じている。高知県檮原町においては、人口4000人を維持することを目標に平成27年度6月の実績で41人の移住者が定住したが、檮原町の移住者の多くは家族全員が安心安全で心豊かに過ごせる場所を望んで移住している。高知県では国、県の補助金で75%を活用す

TOO文書の流出の経緯は



瀧野 志議員

問 町長名、議長名宛の文書は公文書かどうか。それを流出したのか

答 町の事ではないので公文書にしなかった。コピーもしていない、流出させていない。

町長

万高原町では、公文書とされているのかという質問だ。

この文書を知ったのは、5月8日に議会の人事異動があり、5月20日の全国ハーブフェスティバル実行委員会の後、町長から、要請があり、高橋議長、日野産建委員長と私の3人で、町長室に行った時の事だ。町長室には、前副町長の永井副町長もいたので、全員で5名だったと思う。

まず、町長から、長年経営していた久万総合開発株式会社の説明があり、多くの負債があったが、今回皆さんの協力で、すべての借金がなくなり、肩の荷が下りたという旨の説明があった。

今回の趣旨は、その説明の後で、町長が住民に出してきた、久万高原町長 高野宗城様、久万高原町議会 議長 瀧野 志様宛の文書のことだ。

町長はそのとき、TOO、つまり大宝砕石工業とオノ開発株式会社からの、最終処分場はつくらないという文書だと説明したが、私は、その文書を見ていないので、内容はわからない。その時点では、既に私は議長でないの、書かれている議長の

名前はのけてほしい旨を町長に伝えた。

その文書が、後日、そのまま町民の皆さんに配られたが、この文書は、町として公文書としているのか、そうでないのか伺いたい。

答 この文書の件だが、私は配っていないし、コピーもしていない。久万総合開発の個人会社からの、個人的なことでもあったので、

久万高原町議会議長瀧野志様という名前を上げた。それは、私の判断で、勝手に入れたことは、お詫び申し上げます。当然、瀧野議員も、文書は見たと知っている。

これを、公文書にするかしないかは、町の事でもないし、また、相手の会社にも、新聞に出すと言っていたので、私の判断で、公文書にはしなかった。

高野町長

問 私が書類を入手したのは、町民に回収したからだ。内容は、「関係会社である有限会社大宝砕石工業とともに、今後も砕石製造販売事業を継続していく。東明神採石場

を活用した産業廃棄物最終処分場計画は、まさに撤回しており、現在もその計画はない。

今日に至るまで、貴職や町民の皆さんに、多大なご心配をおかけしましたこと、陳謝する。

万一、砕石製造が出来なくなった場合は、安全性や環境保全に万全を期し、監督官庁や久万高原町の皆さんと協議の上、誠実に対応していく。」である。

先ほど町長は、渡していないと述べたが、なぜ町長以外の人が、この文書を持っているのか。

それと、個人の会社のことと言われたが、町としてどうなのか、総務課長、副町長。町長名が書かれる文書は、公文書ではないのか答弁願いたい。

答 今の文書、そのとおりでして、文書は、元は私の手元でなく、

当然発行した二社にも同じものがある。私がそれをコピーしたり配ったりした記憶はない。新聞社の局長が写真を撮って帰っただけで、ほかの方に文書を渡したことはないから、その文書が議員の手元にあるという

問

初めに議会運営委員長として言うが、議員と町長が唯一、政策論争できるのは、この一般質問だ。町の行う事務事業の範囲内であれば、議員は何でも質問できるので、対応を願いたい。

まず、1点目は、久万高原町長高野宗城様、久万高原町議会議長瀧野志様宛の連名で書かれた文書は、久

ことは、また調べていただきたい。

高野町長

答

公文書については、公文書受付簿に記載され、受付番号・

日付を記したもので、受付をしたものを閲覧、また決裁に回した結果、公文書とすることになっている。

私の記憶では、受付文書簿に整理し、受け付けたことは、今のところ確認していない。

稲田総務課長

問

今聞くと、公文書でないという事。それならば町長が自分の名前と議長の名前を出したのは納得できない。

町長が自分の名前だけ出すのなら、それは自分の責任でいいが、止める会の人らが、この文書を見ている。町長がコピーしないのに、あちこちに出回るのは、

それと、新聞社にも聞いたが、町から文書として出たから、書いたというふう言われた。その辺本当のことを言っていたきたい。

答

新聞社の局長が町長室に来た時に、その文書の写真を撮り、新聞に、新聞社なりの文書で書いたと思っている。

この文書は、私だけでなく、あと本社等で2者が持っているという。それと、5人が見たときに文書をコピーしかけたのだが、瀧野議員がいらないということ、しなかった。文書を見て、承知して帰えられたと思っている。

高野町長

問

見てもない文書を、私が納得したりすることはないわけだが、一番かなめの人、私の名前を書いたり、自分の名前が入っている文書を誰が配ったかわからない、そんな無責任なことを言っている。私の名前はどうかしてくれるのか。これ以上話しても進まない、以上でこの件は終わる。

久万高原町の

創生を問う

問

2点目は、久万高原町の創生について質問する。

久万高原町は、平成16年8月1日に、3村1町が合併して発足したが、合併特定期間の10年が、昨年7月末で終了した。

久万高原町は、県下で一番高齢化率が高く、約46%に近い高齢化率である。今後、極端な人口減少の時代が始まり、将来的には、人口が4000人台になるとも言われている。

この2年3年が一番重要な時期であると思う。

また、今年、国勢調査の年でもあり、これにより、人口減少によって、地方交付税も大きく減額されるのではと、特に心配している。

また、今年、介護保険事業計画や、健康づくり計画、福祉計画などが、新しくスタートする年でもあり、特に今年の町の重要課題でもある、今後10年間の総合計画も立てなければならぬ。

こういつた時期に、この町をリ-

ドする町長は、この大変な、厳しい時期に、町長として、久万高原町の創生について、具体的に、詳しく答弁願いたい。

答

瀧野議員の2点目、久万高原町総合計画を立案するにあたり、町長としての考えをとのことに答弁する。

今年度、本町では、15年先の町のあるべき将来像を描いて、第2次久万高原町総合計画を策定しているところである。

私たちは、今、激動と言われている時代に生きており、本町においても例外でなく、平成16年8月の町村合併以降、かつて経験したことのない、11年間を歩んできている。

いまだ視界は開けていないが、これからの14年間についても、非常に厳しい道なのであることは、覚悟しなければならぬ。

しかしながら、この時代こそ、ふるさとの暮らしに、誇りと希望を、持てる町づくりが、一層求められる。時代の要請に応じた、新しい価値観を町民の皆さまと共有し、立ち止まることなく、一歩踏み出す勇気を

持つことも大切だと考えている。

そのため、総合計画の策定に当たり、皆様のご意見をいただき、努めて、計画に反映させるとともに、新たな提案などをさせていただければと、考えている。

人口問題と地域の振興対策に重点を置いた、地方の創生法関連の計画については、総合計画の大きな柱と位置づけて、5年計画を実施することとしている。

高野町長

問

事前通告は、久万高原町の創生についてだ。

総合計画と創生、似ているかも知れないが、予算が伴う事だから、私は違うと思う。職員の皆さんは、そういうふうに関われたのか。

国の地方創生については、平成14年10月10日から始まった。地方創生交付金は、総額4200億円で組まれ、うち、地方創生先行型として、1700億円。1400億円については、地方がアイデアを出して、自由に使えることになっていると思う。また、300億円については、担当大臣の石破大臣の考えだと聞いて

いる。

また、生活支援型として2500億円、プレミアム商品券など、地域経済活性化のために、商品券が多く出されているかと思う。

この1400億円の使い方、総額では1700億円だが、それぞれの市町村が27年度をめどに、計画立案して、予算も決めなければならぬ。もしその計画が良くないと取り扱わないとなっているが、この地方創生の計画について、どの程度まで進んでいるのか。答弁願いたい。

答

事務レベルの推進体制として、課長等による総合戦略の策定委員会を4月に設置している。今月25日には、3回目を計画している。

また、5月には住民アンケートを検討し、6月から実施している。それと、久万高原町の総合計画の審議会を7月に設置して、その中で、産官学金労言の立場の委員さんを18名選任させていただき、一回目の審議会を開催している。

特に、今回の地方再生の中では、若い方々の御意見を多く取り入れるため、松山東雲女子大学との連携に

よる研修事業を入れて、女子大学生からの提案なども、今、取り入れていく。

また、町内の若手職員によるワークショップ、現在二回実施して、新たな事業についての提案も受け入れられている。

稲田総務課長

問

久万高原町は、15歳から64歳までの生産人口と、65歳以上の高齢者がほぼ同じである。

特に、一番の問題は、20代から30代の子供を産み、育てる若者世代が非常に少ないという事だ。

地方で、若い世代が安心して働き、結婚し、子育てができる環境を整えなければならぬが、今、課長の説明だと、いろいろ行っているようだが、もう時間がないと私は思う。多くの市町村が、いずれ消滅の危機にあると言われており、わが町も人口が、4000人を切る時代が来ると思う。

町が行う事業について、優先順位を考え、主権者である町民の意見を聞き、町に優秀な職員がいるので、職員の自由討議、また、議会の意見

を聞き、早期にこのことについて取り組むべきだと思う。

答

総合計画の中で、全国的な動き、地域特性の中での施策の在り方、そういった面での提案を受け入れ、久万高原町独自の事業を、この計画に盛り込んでいきたい。

稲田総務課長

問

議員が唯一、町長と政策論争が出来る機会が、一般質問の場である。

今までも、わたしは多くの一般質問をしたが、大半が実現していない。これは、大きな問題である。

答

職員課長会の中で、一般質問は重要だ、いろいろなことに、耳を傾けなければならないと話をした。

これまでも、一般質問を受け、人工透析の問題や、上黒岩岩陰遺跡問題、今戸川問題等、重要な問題は、検討委員会を立ち上げて、前向きに進めている。

高野町長

総務文教厚生常任委員会審査案件一覧

種類・番号		概要	委員会採決
議案第69号	久万高原町環境衛生センターに係る協定の和解について	落合地区の環境衛生センター施設の使用期限を平成29年3月31日までとする協定の中で定めている「施設の使用期限である平成29年3月31日を以て、協定を終了することについて、落合組との同意が得られたので現協定を終了する旨の和解を行い、別途和解契約を締結する	可決 全員一致
議案第70号	久万高原町一般会計補正予算(第2号)		可決 全員一致
議案第72号	久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	介護保険事業基金積立金計上、介護給付支払基金交付金等の返還金	可決 全員一致

総務文教厚生常任委員会

審議

議案第69号 久万高原町環境衛生センターに係る協定の和解について

瀧野委員

今回600万円の和解金があるが、長い期間、またコミュニティーセンターの負担など町が落合組にいくら支出したのか。

浮田環境整備課長

平成6年の協定からだが、体育館(公民館)費用2億円のうち地元負担金1700万円を合併前の5ヶ町村が負担。親水公園関係事業で、毎年18万円を支出してきた。

議案第70号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第2号)

瀧野委員

檜垣桜公園基金はいくら残っているのか。

稲田総務課長

当初額3000万円、残高1247万円。

瀧野委員

今まで美術館等パンフレットが配布されていたが効果はどうか。

玉泉美術館統括事務局長

パンフレットはいろいろなお客様に4万枚配布。山岳博物館では夏休みに特別展を開催した。アンケート調査によると75%が松山市とその周辺から、何をみて来たかでは、チラシ44%と半数ちかくで効果がでていた。面河山岳博物館の特別展では1000人以上増えている。

中川委員

3館の連携の効果はどうか。入館者数はどうか。

玉泉美術館統括事務局長

お互いの学芸員の協力体制や励みになっている。入館者については久万美術館で2000人、天体

観測館で3000人、山岳博物館で6200人が入館しており、天体、山岳が増加している。

瀧野委員

6月議会の最終日の議会終了後に、愛媛電算の課税、徴収の誤りについて説明、報告があった。議会中に議長とは協議していたにもかかわらず議会への報告、審議しなかつた議会のミスもあつたが、大きな金額をかけて委託した業務に誤りがおきるなどあつてはいけない事である。町の行政の信用を失うことになる。今後の対応について聞きたい。

佐藤住民課長

議会への対応等ご迷惑をおかけした。愛媛電算のミスについてはマンエラーでありシステムエラーではなかつた。愛媛電算にはチェックのあり方、対応策を文書で指導した。利用する我々の体制についても課題があり、お互いのチェック体制、マニュアルの見直し、連絡会議の開催等、このような事が二度と起こらないよう対応したい。

瀧野委員

以前の業者は、こういったミス

はなく、前副町長が委員長の委員会でも業者はこのままでいいという結論がでていたのに愛媛電算になった。大きなお金を使ったのにミスが起き、由々しき問題だ。今後は、ミスなく安心できるように真摯な対応を願いたい。

瀧野委員

へき地医療の負担金について、所得補償しているのは美川クリニックとあとどこが残っているのか。また、機械等の修繕、更新について今後もっと大きな機械の更新があると聞かす。

佐藤住民課長

所得補償しているのは、美川クリニックと吉村医院。機械等の更新、補修については、今回700万であるが、修繕費の考え方でしたが、すべて同じではない。協議して決める事になる。医療機器の考え方は修繕、今後については検討する。

瀧野委員

負担金条例には載っていない。多くの施設をもっているので財政問題で検討すべき。担当課だけではなく早く早急に検討すべきだ。

佐藤住民課長

地域医療はほとんど町の施設を利用して。人口も減少するなかで地域医療の考え方を検討していきたい。

瀧野委員

久万高原町に認知症の患者は、今何人いるのか。

重見保健福祉課長

現在655名。

中川委員

相の峰のヘリポートについての進捗状況はどうか。住民の切実な思いがあるので実現してほしい。

織川消防長

今年度測量設計を委託中である。今回は造成事業であり、工事費等判明した後協議をお願いしたい。

町長

造成費がいるが整備したい。来年の当初予算でお願いしたい。

高橋委員

御三戸では水難事故が何年か一度はおきている。安全の呼びかけはどうか。

稲田総務課長

看板設置やハンドマイクの整備もしたい。

織川消防長

消防対応として7、8月に御三戸から仕七川まで21、31回車両でよびかけのパトロールしている。

田村委員

上黒岩遺跡の整備について、愛媛新聞に学芸員の配置、整備などこれから検討の記事が出たが、進捗状況はどうか。

遠山局長

関係者による意見交換会を開き10月1日から学芸員を採用。今後の施設整備はまったく進んでいない。今後の検討課題。

瀧野委員

遺跡整備についての意見交換会のメンバーは美川地区だけである。新聞にでも議会として理解できない。合併したのに、区分があるのか。

町長

学芸員の雇用問題など議会にもっと早く報告すべきであった。

私の責任である。これからは検討委員会をたちあげて進めていきたい。

瀧野委員

学校教育、社会教育の現場で電球など切れてもいつまでたっても直してくれない。予算計上しなくては直せないという。場所による危険なところもある。対応を早く。予算がないではいけない。

議案第71号 平成27年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

質疑なし

議案第72号 平成27年度久万高原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

田村委員

在宅介護をする側への補助の制度はないのか。

重見保健福祉課長

介護保険制度の中では無いが、町単独事業で支えあい事業がある。

産業建設常任委員会審査案件一覧

種類・番号		概要	委員会採決
議案第70号	久万高原町一般会計補正予算(第2号)		可決 全員一致
議案第73号	久万高原町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	水道倉庫修繕費用	可決 全員一致
議案第74号	久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	終末処理施設機械器具修理費	可決 全員一致
議案第75号	久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	せせらぎ機械器具修繕費、マンホール等修繕費	可決 全員一致

産業建設常任委員会

議案第70号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第2号)

審議

西山委員

高地トレーニングの場所、内容等説明していただきたい。

中川企画観光課長

場所は美川スキー場跡地周辺と四国カルスト。高地トレーニングについては検証委員会で答申をいただくことになっている。並行してパンフレット等作成を進めたい。白銀荘等既存の施設を利用してソフト面での利用をしたい。

中野委員

道の駅で副支配人が採用されている。町職員との入れ替わりであるとのことだが、役場を退職された方がすぐ就任した。いつまでやられるのか。一時的なものなのか。天下りの場所となっているのかわからない。

中川企画観光課長

新たなポストでは無い。レストラン部門の人事異動の後任として委託した。

中野委員

継続的ポストでは無いのか。

中川企画観光課長

その時の状況で進めていく。固定では無い。

山之内委員

落合組への600万円は広域でのし尿処理が始まるまでの迷惑料として支払われるものなのか。

浮田環境整備課長

600万円は地元協力負担金。広域の計画は未定。

玉井委員

柳谷橋トンネルの残土処理に係る立米数等は。

高橋建設課長

橋トンネルは長さ1900m、残土は愛媛県側11万m³。西谷地区菅行地区対岸へ。

玉井委員

その場所は安全か。後で問題になる事はないか。

高橋建設課長

心配ない。

西山委員

農林費350万円は橋詰堰堤改修関連であるのか。現在小学校の入口が両方とも通行止めになっているが、危険でもあり早目に終了させていただきたい。

高橋建設課長

町道分、農道分合わせて350万円。工事は進んでいる、町道を早めに完成させたい。

玉井委員

建設業者が仕事が少ないと言っている。町単独事業は、どの程度になっているか。

高橋建設課長

平成26年度町単独事業が1億2000万円程度で横ばいとなっている。

議案第73号 平成27年度久万高原町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

玉井委員

町内の水道料金のばらつきはど

うか。今後の対策は。

浮田環境整備課長

旧久万町は基本料金と従量制で積算。旧3村は一部しかメーターがついてなく基本料金のみで積算。一律料金については今後研究していく。

議案第74号 平成27年度久万高原町農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)

質疑なし

議案第75号 平成27年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)

質疑なし

その他

中野委員

当町において建設業は、農林業に次いで地元雇用また、災害時の対応等重要な産業であるが、仕事が無く困っていると聞く。倒産の恐れもあるという声も聞いている。そうなるとう生産年齢人口の流出やそれに伴う子供の減少など悪影響が出てくる。仕事については国、

県が関連するので町だけではどうできないが、町として仕事を取ってくるという努力をしているのか。

高橋建設課長

仕事量は県23億、町6億2千万で合わせて29億6千万円程度。道路、河川の進捗が悪い。早めに事業着手したい。町としても取り組んでいる。

中野委員

切迫した問題だ。12月補正に向け、大きな予算が来るように努力して欲しい。

町長

いろいろ努力している。県の砂防や今戸川など早くやってもらうとか。小村工区など大きなもの見とおしがたっていない。道の駅、ニュータウン造成、消防庁舎など町の仕事はあつたが河川工事が少なくなっている。建設業者が倒産すると除雪や災害の時など困ってしまう。財政的なこともあるが前向きに進めたい。

議会最終日

議案第70号 平成27年度久万高原町一般会計補正予算(第2号)

質疑

瀧野議員

「道の駅」副支配人の人事について、退職職員を雇用しているが本町には再任用の制度があるのか、また業務内容と委託費はいくらか。

稲田総務課長

地方公務員法、また当町の条例においても再任用の制度はある。若い方々の雇用の場の確保という意味も含めて慎重な運用をしているのが現状だ。

中川企画観光課長

業務内容は主にレストランの運営で業務委託料は月額25万円である。

瀧野議員

公民館と集会所については基本的な区分があると思う。本来集会所については地元がお金を出し合って管理し、運営も行っているはずだが、町が費用を負担している集会所があるのか。

稲田総務課長

一部、地域の公共性の中で地元管理のみでない集会所もある。

瀧野議員

同じ町の中で町が負担してくれる集会所とそうでない集会所があるのはおかしいと思う。今後どうされるのか。

高橋副町長

現に集会所と呼びながら、管理形態、運営形態の違うものがあるが、さらに整理して町民の皆様に解りやすく、公平に区分するよう対応していく。

討論

**追加議案第77号 動産の取得
消防 緊急電話受付装置等通信
施設一式の取得**

瀧野議員

賛成の立場で討論する。今後極端な人口減少の町になっていくが、町民の安心、安全については皆が望むものである。ただ今後の施設や設備の整備については、十分な協議を経て慎重に対応していただきたい。

決算特別委員会

決算特別委員会は、平成26年度の歳入歳出決算を審査して認定に関する議決を行う会です。

予算が適正に執行されているか

行政効果、経済効果はどうか

審査の結果が、後年度の予算編成や、行政執行に生かされるよう努力する

右の事項等を重視して、5回の委員会を開催しました。

各課、各特別会計、企業会計毎に審査を進め、次回委員会で審議結果をまとめ、その結果を、12月定例議会で報告します。

主な審査内容

委員会では、各事業の効果について、審査して反省点を基に、平成28年度予算への反映を促す事が目立っていました。

道の駅事業に対しては、一般会計から特別会計への移行によって、分かり易い事業展開を希望しました。

放課後の児童預かり事業、延長

保育の川下地区での実施により、子育て世代の環境を整える事が定住化の促進につながるのではと提案しました。

各種イベントについて、もっと

正確な実績の把握をして、それぞれの効果をしっかりと総括する事を求めました。

コンサルタントへの業務委託に

ついて、入札、落札の経緯を提示するように求めました。

パソコン等のリース料、保守点

検料に高額なケースがあったため、その理由等について説明を受けたので、来年度以降の契約については慎重に執り行うよう求めました。

決算特別委員会 委員

委員長 上岡 正文

副委員長 山之内敏秋

委員 中野 克仁

田村 昭子

上沖 教一

長山 淳志

オブザーバー 高橋 末廣議長

研修報告

全国広報特別委員会

10月20日21日に東京で行われた研修に参加しました。



読みやすい誌面、親しみやすい広報をつくるテクニクの講義、全国の議会だよりのクリニクからいろいろ勉強してきました。次回からの広報作成に活かしていきます。

全国の広報を見て、紙面づくりもさることながら、議会活動についても反省する事が多々ありました。意を新たに、これからの議会活動に研修の成果を取り入れていきたいと思えます。

表紙説明 第7号



今回の表紙は、林業まつり。みんなの大好きな餅まきの写真です。餅拾い、本当に楽しいですね。私もついつい一生懸命になっています。

国にしても、県にしても、町にしても、行政の施策や事業が、餅まきのお餅のように、住民みんなに喜んでもらえるものであればどんなに良いか。などと、つい思っていました。

平成27年

第6回臨時議会

10月22日

上記、臨時議会が開催され下の報告1件、議案1件を審議可決した。

報告、議案の概要と審議

報告第16号

損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分の報告について

平成27年8月16日の公用車と民間車の衝突事故についての和解と、損害賠償額96,000円の共済による支払いの報告

議案第79号

動産の取得について

高規格救急自動車1台と装備される取付品、附属品、高度救命処置用資機材、救急用資機材の合計2972万6260円の取得について

可決

アンケートにお答えください。

該当する□に✓でチェックして下さい (例 ✓男)

1. 性別 男 女
2. 年齢 20以下 20代 30代 40代
 50代 60代 70以上
3. 住所 旧久万町 旧面河村
 旧美川村 旧柳谷村
4. 「議会だより」について (複数回答可)
 誌面が見にくい 内容がわかりづらい
 議会活動が伝わりにくい
 必要がない

その他 ()

5. その他 何でもご意見があれば、記入して下さい。

裏面のご意見記入欄もご利用して下さい。

アンケートにお答えください。

議会だより、議会報告会についてのご意見をお寄せいただくために今回、左の葉書を用意しました。チェックして、記入して、切り取って送っていただくだけです。ご協力よろしくお願いたします。

「その他 何でもご意見があれば、記入して下さい」の欄は、裏面16ページにもスペースがありますのでご利用下さい。



議会だよりに
○○なコーナーが
あればなあ〜

議会報告会で
あんな事
聞きたいなあ〜

議会だより
こうすればもっと
見やすいのに!

議会を傍聴しませんか?!

12月定例会(予定) 12月 8日(火) 開会日・一般質問等
12月 9日(水) 総務文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
12月14日(月) 閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます!

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892-21-0134

議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?

ご意見等の送付先(郵便又はFAX)

久万高原町 議会事務局 宛
住所 久万高原町久万188
FAX 0892-21-0134

※ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

今回は下のハガキを用意しました。
裏面(15P)のアンケートにお答えいただくと
ともにご意見等お寄せ下さい。



全国各地の地域づくりや、行政改革を、
視察、記事、講習等で勉強していますが、
地域事情や、その時々々の国政によってな
かなか「これだ!」と確信できません。
しかし、共通しているのは、何とかし
ようとす情熱、使命感をもった人たち
の存在です。そして、行動力と仲間。
秋風が、身にしむ季節になりましたが
体調には、充分お気を付け下さい。

(中野)

編
集
後
記

久万高原町議会だより

第7号 平成27年11月19日

発行 行/久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188
発行責任者/町議会議長 高橋 末廣
編集/議会広報特別委員会
TEL 0892(21)0134 FAX 0892(21)0134
印刷/明星印刷工業株式会社

キリトリ線

Post card



料金受取人払郵便

松山南局
承認

129

差出有効期限
平成28年3月
31日まで
(切手を貼らずに
ご投函ください)

7 9 1 1 1 9 0

久万高原町久万188
久万高原町議会事務局内
久万高原町議会会報
特別委員会 宛

キリトリ線

ご意見記入欄

